

## 新教育プログラム「(仮称) Yokkaichi Education Style」について

平成29年3月22日

教育委員会

### 1 趣旨

本市独自の教育資源の活用により、教育環境の充実に積極的に取り組み、子どもや先生の笑顔があふれる元気な学校をつくることにより、「子育てするなら四日市」「教育するなら四日市」という都市イメージを構築し、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

### 2 新教育プログラム「(仮称) Yokkaichi Education Style」の位置付け

本市では、平成27年度に「四日市市教育大綱」を策定し、その理念を着実に実現するための取り組みを進めています。

そのため、平成28年度には、学力向上のための二つのアクション「学びの質の向上」「学びの環境の充実」からなる「学力向上アクションプラン」を策定し、概ね5年間の期間において実行性のある取り組みを進めているところです。

また、国においては、平成29年3月に次期学習指導要領が改訂され、小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度から全面実施となります。改訂後の学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現を掲げ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことを目指しています。

一方、本市においては、近年人口流出の状況にあるため、将来の四日市市を担っていく豊かな人材づくりに積極的に取り組むことにより、子育て世代に選ばれるまちとして発信することが求められています。

そのため、新教育プログラム「(仮称) Yokkaichi Education Style」によって教育支援のさらなる充実に向けて取り組むとともに、「子育てするなら四日市」「教育するなら四日市」という都市イメージを構築し、本市独自の取り組みを広く周知します。

### 3 取り組みの概要

5つのカテゴリーにおいて、本市の独自性を生かした教育への取り組みを推進する。

#### ①『産業都市よっかいち』 産業都市で学ぶキャリア教育

企業との連携教育や中学・高校の連携によるものづくり・科学体験などを通し、産業都市よっかいちの資源を生かした理科教育を推進します。さらに、産業や社会、人間とのつながりを学び、子どものキャリア発達を促すとともに、社会で自立して生きる力を育みます。

#### ②『グローバル化する社会』 英語教育の充実とコミュニケーション力の育成

英語指導員による生きた英語授業や小学校高学年英語専科授業による英語教育の充実を図ります。また、「特別の教科 道徳」の取り組みを充実させます。さらに、地場産業を生かした授業、伝統文化を大切にした授業などにより、グローバル化する社会に対応する子どもを育みます。

③ 『みんなで育む確かな学力』 生き生きと学ぶ意欲を育む 問題解決能力の向上

帯授業(短時間学習)の導入や家庭学習の充実等により、子どもの基礎学力の定着を図ります。  
また、問題解決能力の向上を図るため授業づくりガイドブック(四日市モデル)による授業改善に取り組み、生き生きと学ぶ意欲ある子どもを育みます。

④ 『心も体も元気な子ども』 体力・運動能力の向上 豊かな心を育む

体育・保健体育の授業改善により、運動量の確保や体力・運動能力の向上を図ります。  
また、安心して学ぶ環境を整え、自他の人権を大切に、自己実現に向かう子どもを育みます。  
さらに、中学校給食(食缶方式)の導入や食育の推進により、健康で元気な子どもを育みます。

⑤ 『笑顔あふれる学校』 明るい学校、元気な先生

多忙化する学校や教職員の現状を把握し、必要な人的・物的体制の確保により、「チーム学校」を推進します。また、教育環境の改善により、子どもと先生が明るく元気に向き合うことのできる、笑顔あふれる学校を創ります。

#### 4 推進に向けた新たな施策

■ 学校指導体制の改善

- ・ 小学校高学年の教科担任制の導入(英語科、理科、体育科)
- ・ 帯授業(短時間学習)の導入による基礎学力定着の取り組み
- ・ 小学校体育科・中学校保健体育科授業のはじめの5分間運動の取り組み
- ・ 英検I B Aの導入、英語指導員の増員

■ 地域資源の活用

- ・ 企業との連携教育、J A X Aとの連携教育の充実
- ・ 四日市こども科学セミナーの開催
- ・ 市内高等学校と連携した体験学習

■ 学校教育環境の改善

- ・ 食缶方式による中学校給食の早期実現
- ・ 小中学校普通教室への空調設備整備
- ・ 学校図書館司書の派遣増及び学校図書館蔵書の充実
- ・ トイレの洋式化

■ 家庭・地域との協働による「チーム学校」の推進

- ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置の充実
- ・ 校務支援のための人的支援や校務支援ソフト等の導入検討
- ・ 四日市版コミュニティスクールの指定拡大
- ・ 家庭と連携した学習習慣の確立

#### 5 取り組み期間

おおむね、本市の第3次推進計画期間である平成29年度～平成32年度の4か年とする。

# (仮称) Yokkaichi Education Style (案)



教育するなら四日市！

本市独自の教育資源の活用により、教育環境の充実に積極的に取り組みます  
子どもや先生の実顔があふれる元気な学校をつくります



## 産業都市よっかいち

### 産業都市で学ぶキャリア教育

企業との連携教育や中学・高校の連携によるものづくり・科学体験などを通し、産業都市よっかいちの資源を生かした理科教育を推進します。

さらに、産業や社会、人間とのつながりを学び、子どものキャリア発達を促すとともに、社会で自立して生きる力を育みます。



## グローバル化する社会

### 英語教育の充実と

### コミュニケーション力の育成

英語指導員による生きた英語授業や小学校高学年英語専科授業による英語教育の充実に努めます。

また、「特別の教科 道徳」の取り組みを充実させます。

さらに、地場産業を生かした授業、伝統文化を大切にした授業などにより、グローバル化する社会に対応する子どもを育みます。



## みんなで育む確かな学力

### 生き生きと学ぶ意欲を育む

### 問題解決能力の向上

帯授業（短時間学習）の導入や家庭学習の充実等により、子どもの基礎学力の定着を図ります。

また、問題解決能力の向上を図るため授業づくりガイドブック（四日市モデル）による授業改善に取り組み、生き生きと学ぶ意欲ある子どもを育みます。



## 心も体も元気な子ども

### 体力・運動能力の向上

### 豊かな心を育む

体育・保健体育の授業改善により、運動量の確保や体力・運動能力の向上を図ります。

また、安心して学ぶ環境を整え、自他の人権を大切に、自己実現に向かう子どもを育みます。

さらに、中学校給食（食缶方式）の導入や食育の推進により、健康で元気な子どもを育みます。



## 笑顔あふれる学校

### 明るい学校、元気な先生

多忙化する学校や教職員の現状を把握し、必要な人的・物的体制の確保により、「チーム学校」を推進します。

また、教育環境の改善により、子どもと先生が明るく元気に向き合うことのできる、笑顔あふれる学校を創ります。

## ■ 学校指導体制の改善

- ・ 小学校高学年の教科担任制の導入（英語科、理科、体育科）
- ・ 帯授業（短時間授業）の導入による基礎学力定着の取り組み
- ・ 小学校体育科・中学校保健体育科授業のはじめの5分間運動
- ・ 英検 I B A の導入、英語指導員の増員

## ■ 地域資源の活用

- ・ 企業との連携教育、JAXAとの連携教育の充実
- ・ 四日市こども科学セミナーの開催
- ・ 市内高等学校と連携した体験学習

## ■ 学校教育環境の改善

- ・ 食缶方式による中学校給食の早期実現
- ・ 小中学校普通教室への空調設備整備
- ・ 学校図書館司書の派遣増及び学校図書館蔵書の充実
- ・ トイレの洋式化

## ■ 家庭・地域との協働による「チーム学校」の推進

- ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置の充実
- ・ 校務支援のための人的支援や校務支援ソフト等の導入検討
- ・ 四日市版コミュニティスクールの指定拡大
- ・ 家庭との連携による学習習慣の確立